

コウナゴ調査情報 (No.1)

= コウナゴの分布は確認されず =

平成 31 年 2 月 12 日(火) に、調査船「いばらき丸」によりコウナゴ分布状況調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

【調査内容】

大津・川尻沖の水深 10, 20, 30m 地点各 3 地点 (右図参照) において、ボンゴネットによる曳網調査及び海洋観測を行いました (水温は下表参照)。

【海況】

航走中および調査地点での表面水温は 11~13℃台でした (右図)。また調査海域の潮流は、川尻沖では真潮傾向でしたが、大津沖では潮流が弱く、顕著な流れは確認されませんでした。

【調査結果】

今回の調査では、コウナゴは採集されませんでした (下表)。曳網調査および海洋観測結果から、茨城沖の海況は黒潮からの暖水の影響が強く、コウナゴが来遊しにくい状況であると考えられます。

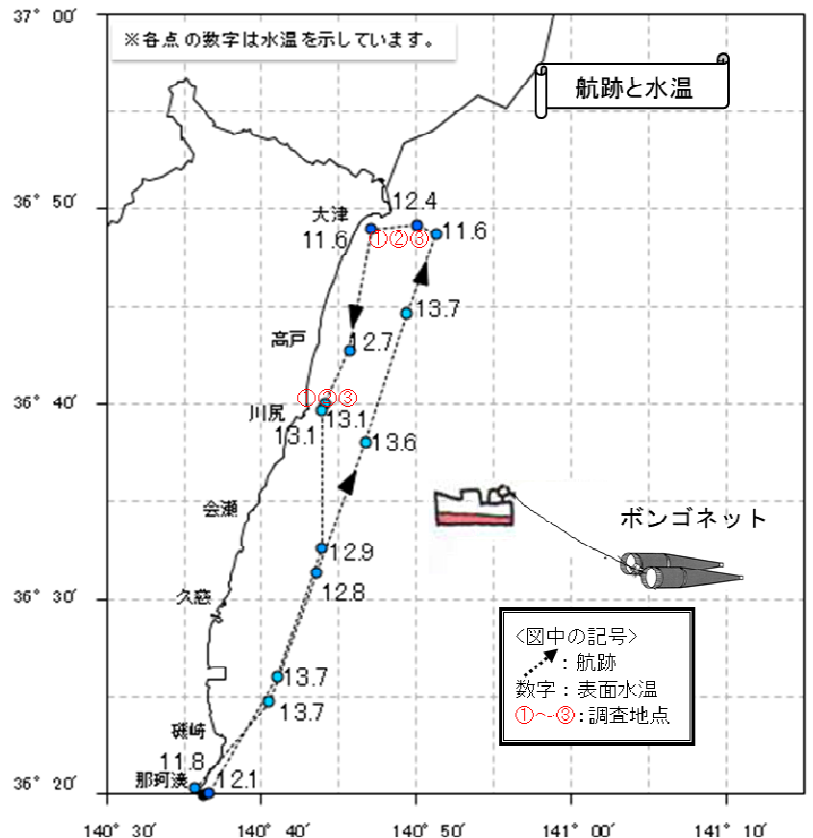


図 調査地点および航跡図
 (那珂湊～大津漁港前)

表 調査点別の水温及び採捕尾数

調査地点	水深 (m)	表面水温 (°C)	底層水温 (°C)	緯度	経度	コウナゴ採捕尾数	
						今回 H31.2.12	昨年同期 H30.2.13
大津-①	14	11.6	11.5	36° 49'	140° 47'	0	4
大津-②	25	11.8	11.6	36° 49'	140° 50'	0	0
大津-③	35	12.4	12.2	36° 49'	140° 51'	0	5
川尻-①	20	12.9	12.8	36° 40'	140° 43'	0	0
川尻-②	23	13.1	12.6	36° 40'	140° 44'	0	0
川尻-③	27	13.4	13.2	36° 40'	140° 45'	0	1

(参考情報)

宮城県の 1 月 30 日の調査では、コウナゴの分布状況は過去 10 年平均の 10%以下と極めて低い値となっており、今年の漁獲は低調と予想しています。また、福島県の 2 月 20 日の調査では、いわき沖では採集されませんでした。